

◆農業生産の現状◆

本県の農業産出額(平成19年産)は、1,945億円です。野菜913億円で第6位、花き187億円で第5位、麦類14億円で第7位など全国のトップクラスです。

麦類 14億円(全国第7位)

参考データ(小麦(19年産))	
産出額	11億円(全国第6位)
作付面積	6,150ha(全国第6位)
生産量	17,700t(全国第8位)

果樹 68億円(全国第33位)

参考データ(主な品目の産出額及び生産量(19年産))				
品目	産出額	全国順位	生産量	全国順位
なし	46億円	7位	11,300t	8位
ぶどう	11億円	20位	1,690t	20位
くり	4億円	-	748t	5位

茶(生葉) 18億円(全国第8位)

参考データ(茶(19年産))	
栽培面積	1,130ha(全国第8位)
生産量(生葉)	4,310t(全国第12位)

野菜 913億円(全国第6位)

参考データ(主な品目の産出額及び生産量(19年産))				
品目	産出額	全国順位	生産量	全国順位
ねぎ	170億円	2位	61,400t	2位
きゅうり	128億円	3位	55,200t	3位
ほうれんそう	118億円	1位	33,100t	2位
トマト	52億円	11位	16,700t	14位
いちご	52億円	13位	4,420t	11位
ブロッコリー	45億円	2位	15,000t	3位
こまつな	41億円	1位	15,200t	1位
さといも	39億円	2位	16,100t	3位
えだまめ	34億円	3位	5,780t	4位
なす	27億円	9位	10,700t	11位

*このほかにも、にんじん、だいこん、はくさい、スイートコーンなど多くの品目が生産されています。

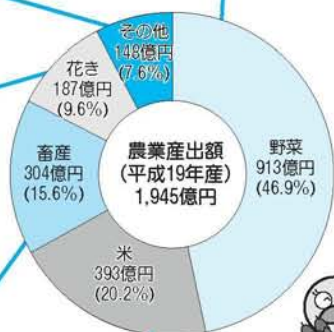
花き 187億円(全国第5位)

参考データ(主な品目の産出額及び生産量(19年産))				
品目	産出額	全国順位	生産量	全国順位
ゆり(切り花)	30億円	-	2,510万本	1位
洋ラン(鉢物)	11億円	3位	106万本	3位
パンジー(花壇苗)	5億円	-	1,080万本	3位

畜産 304億円(全国第27位)

参考データ(主な畜種の産出額及び飼養頭羽数(19年産))				
畜種	産出額	全国順位	飼養頭羽数	全国順位
乳用牛	84億円	20位	14,500頭	21位
肉用牛	31億円	34位	21,600頭	30位
豚	80億円	20位	129,300頭	22位
採卵鶏	100億円	18位	2,991千羽	22位

*採卵鶏の産出額は鶏卵のデータ、飼養頭羽数は、成鶏めす(6か月以上)のデータ。



米 393億円(全国第17位)

参考データ(水稲(19年産))	
作付面積	37,000ha(全国第18位)
生産量	175,000t(全国第18位)

※野菜及び果樹の生産量は概数。

※産出額の全国順位の「-」は全国データが把握できないため。

資料：県農業政策課

VI 地方行政

項目 (地方行政)	データ	全国順位
普通会計決算額(歳入)	1,569,709百万円	7
普通会計決算額(歳出)	1,558,039百万円	7
経常収支比率	92.6%	32
財政力指数	0.69338	7
県民1万人当たり県職員数(一般行政部門)	12.8人	1

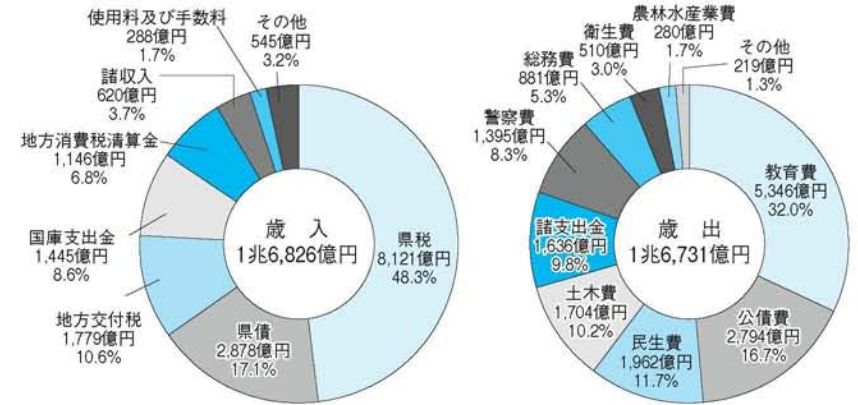
～本編より抜粋～



57 決算

一般会計決算構成比(平成19年度)

単 位	*1 普通会計決算額 (歳入)		*2 普通会計決算額 (都道府県税収入総額)		*3 普通会計決算額 (歳出)		*4 普通会計決算額 (実質収支)	
	百万円	順位	百万円	順位	百万円	順位	百万円	順位
全 国	48 438 201		16 324 286		47 535 945		385 034	
北海道	2 556 032	3	582 075	8	2 551 075	3	1 014	42
青森県	728 260	25	149 248	27	718 632	25	1 784	38
岩手県	738 402	24	129 102	31	726 380	24	2 821	30
宮城県	795 746	18	264 081	16	783 003	18	4 376	17
秋田県	635 634	29	101 120	40	630 291	29	1 764	39
山形県	569 269	34	113 622	36	562 645	34	3 403	26
福島県	839 140	14	231 845	21	830 848	14	3 830	22
茨城県	1 044 991	12	372 863	11	1 033 687	12	5 324	9
栃木県	793 361	19	273 729	15	774 274	20	6 297	6
群馬県	759 915	21	247 240	18	744 080	21	4 554	16
埼玉県	1 569 709	7	739 329	5	1 558 039	7	6 983	5
千葉県	1 431 806	9	667 476	6	1 419 321	9	4 336	19
東京都	6 827 785	1	2 906 160	1	6 516 448	1	235 319	1
神奈川県	1 762 451	6	1 066 427	4	1 747 717	6	6 024	7
新潟県	1 256 405	10	275 382	14	1 205 340	10	3 411	24
富山県	520 651	37	134 821	30	504 413	36	3 931	21
石川県	509 485	39	148 698	28	501 484	38	2 022	33
福井県	476 806	41	108 563	38	469 266	41	4 015	20
山梨県	457 029	43	109 233	37	433 314	43	3 086	29
長野県	833 131	16	247 334	17	819 862	16	3 408	25
岐阜県	789 954	20	240 346	20	777 133	19	6 993	4
静岡県	1 110 979	11	520 280	10	1 095 317	11	7 167	3
愛知県	2 192 731	5	1 228 168	2	2 181 775	5	5 123	10
三重県	688 213	27	244 894	19	665 082	27	4 357	18
滋賀県	492 158	40	169 101	25	484 729	40	1 067	41
京都府	818 845	17	310 626	13	813 315	17	639	44
大阪府	2 807 838	2	1 199 001	3	2 802 544	2	△ 12 669	47
兵庫県	2 196 850	4	628 209	7	2 187 526	4	180	46
奈良県	461 409	42	123 581	32	454 691	42	812	43
和歌山県	512 363	38	99 385	42	502 431	37	4 627	14
鳥取県	373 436	47	56 901	47	365 289	47	5 105	11
島根県	540 321	35	68 423	45	525 864	45	4 769	12
岡山県	742 443	23	227 828	22	735 545	22	1 129	40
広島県	953 708	13	345 779	12	944 243	13	2 818	31
山口県	716 287	26	172 975	23	705 626	26	3 653	23
徳島県	520 772	36	84 920	44	500 310	39	4 609	15
香川県	434 538	45	119 973	34	426 196	45	5 368	8
愛媛県	620 228	30	146 295	29	608 038	30	1 905	37
高知県	439 490	44	66 801	46	431 793	44	3 218	28
福岡県	1 487 300	8	553 161	9	1 457 015	8	1 910	36
佐賀県	411 959	46	87 777	43	404 925	46	3 348	27
長崎県	666 382	28	115 664	35	644 547	28	619	45
熊本県	747 301	22	169 669	24	727 716	23	9 374	2
大分県	592 899	31	121 190	33	577 316	33	2 581	32
宮崎県	589 652	33	100 481	41	579 989	32	1 966	35
鹿児島県	833 956	15	149 738	26	823 268	15	4 690	13
沖縄県	590 179	32	104 772	39	583 605	31	1 972	34



注)1億円未満切捨て。
資料：県会計管理課

歳入総額・歳出総額ともに前年度を下回る

県会計管理課の資料によると、平成19年度の一般会計決算は、歳入が1兆6,826億円、歳出が1兆6,731億円で、前年度より歳入は143億円(0.8%)、歳出は135億円(0.8%)減少し、歳入総額、歳出総額ともに前年度を下回り、実質収支は58億円の黒字を確保しました。

県税収入は5年連続で前年度を上回る

主な歳入を前年度と比べると、県税収入は8,121億円で1,297億円(19.0%)増加しました。これは、三位一体の改革による税源移譲に伴い、所得譲与税が廃止され、個人県民税が大幅に増収となったことによります。県債収入は2,878億円で、借換債や退職手当債などの特例債が増加したことなどにより247億円(9.4%)増加しました。

また、地方交付税は1,779億円で、県税収入が増加したことなどにより、381億円(17.7%)減少しました。

土木費・公債費が減少

主な歳出を前年度と比べると、総務費は881億円で、県税取扱交付金等により104億円(13.4%)増加しました。民生費は1,962億円で、福祉医療関係の法令等に基づく負担金により50億円(2.7%)、教育費は5,346億円で、教育職員の退職手当の増加などにより69億円(1.3%)増加しました。

一方、土木費は1,704億円で、工事請負費などの減少により116億円(6.4%)、公債費は2,794億円で、県債管理基金への積立ての減少などにより275億円(9.0%)減少しました。

「都道府県決算状況調」によると、平成18年度普通会計決算の歳入は1兆5,697億円、歳出は1兆5,580億円でした。歳入から歳出を差し引いた額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は69億円の黒字です。

資料出所：*1,3,4「都道府県決算状況調」総務省HP
*2「都道府県財政指数表」総務省
時点(周期)：平成18年度(毎年) 平成18年度(毎年)

58 財政指標・予算

*1 *2 *3 *4

単 位	標準財政規模		財政力指数		経常収支比率		普通会計 当初予算額	
	百万円	順位	—	順位	%	順位	百万円	順位
全 国	26 040 663		0.46365		93.6		45 709 901	
北海道	1 298 574	3	0.38046	29	93.8	19	2 482 847	2
青森県	362 808	26	0.29357	40	95.6	10	701 306	23
岩手県	371 422	25	0.29360	39	95.6	10	652 886	26
宮城県	440 105	17	0.50871	16	93.6	22	759 262	19
秋田県	309 268	30	0.27646	43	93.8	19	573 714	31
山形県	307 402	31	0.32136	35	95.5	12	558 169	33
福島県	462 700	16	0.41702	23	93.8	19	818 529	14
茨城県	557 923	12	0.60389	8	95.5	12	1 024 864	12
栃木県	402 904	20	0.57649	10	93.2	26	746 049	21
群馬県	386 122	23	0.54160	11	92.3	35	795 408	17
埼玉県	979 489	6	0.69338	7	92.6	32	1 601 884	6
千葉県	868 386	8	0.69998	5	97.4	3	1 462 384	8
東京都	3 911 707	1	1.21538	1	84.5	47	7 177 439	1
神奈川県	1 158 157	5	0.86444	3	93.5	23	1 787 380	5
新潟県	561 132	11	0.40401	26	91.8	39	1 086 982	11
富山県	264 772	38	0.41593	24	94.5	16	513 673	35
石川県	276 125	36	0.42153	22	92.8	29	510 131	37
福井県	225 478	45	0.37210	31	92.7	31	454 970	42
山梨県	233 905	42	0.38583	28	91.5	41	443 662	43
長野県	480 827	14	0.42777	20	92.1	36	815 896	15
岐阜県	421 645	19	0.47663	19	91.9	38	749 101	20
静岡県	662 600	10	0.69563	6	90.8	44	1 110 675	10
愛知県	1 213 864	4	0.94343	2	93.3	25	2 148 060	3
三重県	384 717	24	0.54009	12	94.6	15	651 465	27
滋賀県	279 896	35	0.50522	17	91.8	39	486 119	39
京都府	469 960	15	0.53867	13	96.5	6	804 280	16
大阪府	1 403 519	2	0.74510	4	96.6	5	★ 1 227 703	9
兵庫県	946 126	7	0.53208	15	96.4	7	1 935 163	4
奈良県	276 037	37	0.39699	27	92.6	32	455 582	41
和歌山県	258 838	39	0.30385	37	89.6	46	510 358	36
鳥取県	188 157	47	0.25679	45	92.8	29	334 170	47
島根県	254 669	40	0.22688	47	94.1	18	504 858	38
岡山県	397 833	21	0.48813	18	97.8	2	723 353	22
広島県	530 908	13	0.53729	14	91.5	41	919 718	13
山口県	348 639	27	0.40885	25	92.5	34	687 569	25
徳島県	232 437	43	0.32317	34	96.4	7	459 424	40
香川県	228 109	44	0.42532	21	94.3	17	414 375	44
愛媛県	323 314	29	0.37232	30	89.8	45	579 298	30
高知県	239 896	41	0.23294	46	97.4	3	409 746	45
福岡県	820 500	9	0.57751	9	94.7	14	1 472 038	7
佐賀県	222 935	46	0.31631	36	90.9	43	390 661	46
長崎県	348 619	28	0.26935	44	96.3	9	691 119	24
熊本県	396 667	22	0.36505	32	93.1	27	★ 619 321	28
大分県	302 373	32	0.32905	33	93.5	23	581 562	29
宮崎県	293 210	34	0.28886	41	92.1	36	549 767	34
鹿児島県	436 866	18	0.29456	38	97.9	1	760 741	18
沖縄県	299 121	33	0.28814	42	93.0	28	566 240	32

資料出所：*1~*3「都道府県決算状況調」
総務省HP

時点(周期)：平成18年度(毎年)

*4「都道府県展望」
全国知事会

平成20年度(毎年)

財政力指数4年連続の上昇

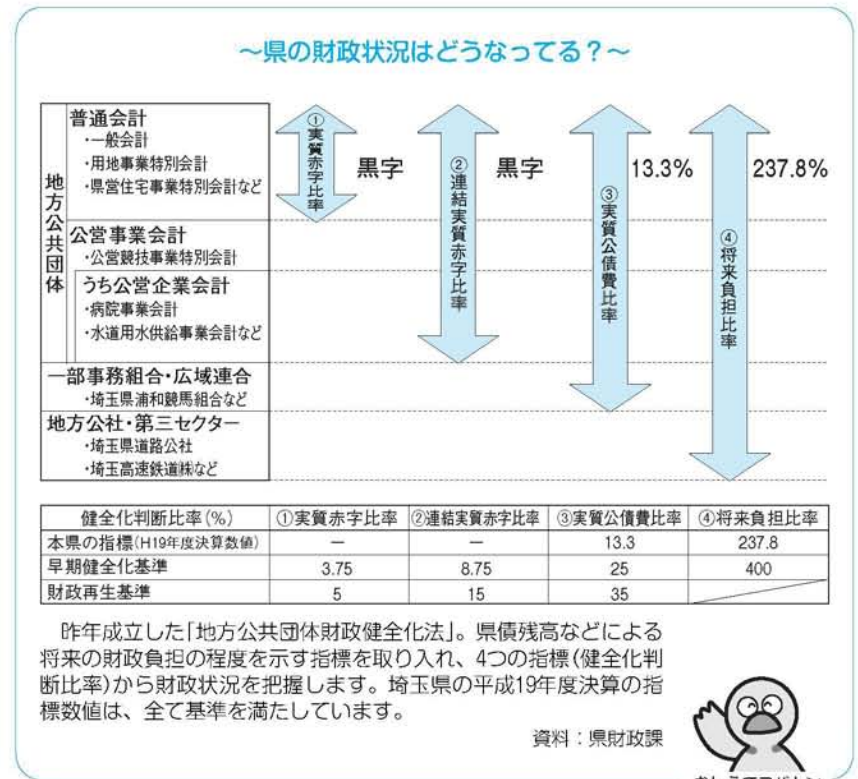
「都道府県決算状況調」によると、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3か年(平成16~18年度)の平均値である平成18年度の財政力指数は、0.69338で全国第7位でした。法人2税の増加による基準財政収入額の伸びが、衛生費や高齢者福祉費等の基準財政需要額の伸びを上回ったことにより、財政力指数は4年連続で上昇しています。

経常収支比率低下に転じる

県税や地方税などの経常的収入に対して、人件費や公債費など経常的経費が充てられている割合を示す経常収支比率は、前年度94.9%から92.6%に低下しました。「都道府県展望」によると、平成20年度普通会計当初予算は、1兆6,018億円で前年度より1.5%増加しました。

※表*2,3の全国値は各都道府県値の単純平均です。

※表*4の★の付いた2団体は、平成20年度に暫定予算(大阪府)及び骨格予算(熊本県)を編成した団体です。



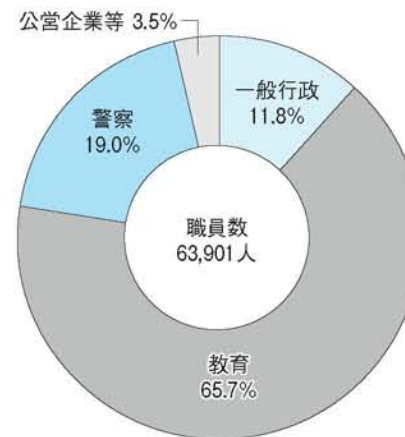
昨年成立した「地方公共団体財政健全化法」。県債残高などによる将来の財政負担の程度を示す指標を取り入れ、4つの指標(健全化判断比率)から財政状況を把握します。埼玉県の平成19年度決算の指標数値は、全て基準を満たしています。



59 都道府県職員

部門別職員構成比(平成20年4月1日現在)

単 位	*1 職員数 (一般行政部門)		*2 県民1万人当たり 職員数 (一般行政部門)		*3 職員数 (教育部門)		*4 職員数 (警察部門)	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	256 125		24.8		916 779		281 181	
北海道	15 868	2	42.9	44	48 914	3	11 750	8
青森県	4 598	20	32.1	29	13 377	28	2 618	30
岩手県	4 316	28	31.5	28	13 449	27	2 420	33
宮城県	5 092	17	38.2	41	18 798	14	4 175	15
秋田県	3 931	33	34.7	34	9 976	35	2 307	35
山形県	4 418	25	36.9	37	10 660	32	2 301	36
福島県	5 748	12	27.6	19	18 383	16	3 711	20
茨城県	5 431	14	18.2	5	23 469	11	5 224	13
栃木県	4 843	19	24.1	13	16 068	20	3 698	21
群馬県	4 162	30	20.6	9	15 982	21	3 748	19
埼玉県	7 563	9	12.8	1	42 000	6	12 116	7
千葉県	7 701	7	14.8	2	39 500	7	12 495	5
東京都	20 016	1	16.0	3	62 281	1	46 637	1
神奈川県	7 663	8	19.7	8	48 103	4	16 917	3
新潟県	6 438	10	39.9	42	20 898	12	4 564	14
富山県	3 703	35	33.4	31	9 145	39	2 249	39
石川県	3 546	39	30.3	25	9 403	38	2 288	37
福井県	3 067	46	37.6	39	7 942	45	1 989	41
山梨県	3 205	44	36.7	36	8 650	40	1 911	43
長野県	5 344	15	24.5	15	18 632	15	3 814	18
岐阜県	4 531	22	21.6	10	16 870	18	3 882	17
静岡県	5 909	11	25.9	17	25 185	10	6 821	11
愛知県	9 172	4	18.2	5	46 289	5	14 197	4
三重県	4 582	21	24.6	16	15 076	23	3 393	25
滋賀県	3 333	41	24.1	13	11 698	31	2 528	31
京都府	4 330	26	36.9	37	17 382	17	6 997	10
大阪府	9 234	3	17.3	4	52 380	2	22 891	2
兵庫県	7 947	6	19.4	7	37 366	8	12 321	6
奈良県	3 307	42	23.2	12	9 910	36	2 705	29
和歌山県	3 687	36	35.2	35	9 657	37	2 459	32
鳥取県	3 144	45	52.1	47	6 118	47	1 416	47
島根県	3 617	38	49.3	46	7 945	44	1 764	46
岡山県	4 419	24	22.6	11	15 497	22	3 906	16
広島県	5 114	16	29.8	23	19 822	13	5 690	12
山口県	4 319	27	29.1	21	12 509	30	3 555	22
徳島県	3 430	40	42.5	43	7 663	46	1 837	45
香川県	2 978	47	29.2	22	8 441	41	2 047	40
愛媛県	4 107	31	27.9	20	13 257	29	2 802	28
高知県	3 631	37	46.3	45	8 358	42	1 879	44
福岡県	8 180	5	30.6	27	32 029	9	11 464	9
佐賀県	3 302	43	38.1	40	8 343	43	1 927	42
長崎県	4 460	23	30.3	25	13 493	25	3 490	23
熊本県	4 865	18	26.3	18	15 065	24	3 434	24
大分県	4 085	32	33.6	32	10 642	33	2 346	34
宮崎県	3 922	34	33.7	33	10 243	34	2 285	38
鹿児島県	5 703	13	32.7	30	16 437	19	3 358	26
沖縄県	4 164	29	29.9	24	13 474	26	2 855	27



資料：「地方公共団体定員管理調査結果の概要」総務省

進む職員定数の削減

「地方公共団体定員管理調査結果の概要」によると、平成20年4月1日現在の総職員数は、前年より301人減少して63,901人でした。

この総職員数を総務省定員管理調査に基づいた区分(部門別)で見ると、一般行政は7,563人(前年比137人減)、教育が42,000人(同446人減)、警察が12,116人(同301人増)、公営企業等が2,222人(同19人減)でした。

一般行政部門の県民1万人当たりの職員数は、平成19年4月1日現在の13.1人からさらに減少し、12.8人で引き続き全国第1位でした。

※表*2は政令指定都市人口を除いた都道府県人口から算出。また、全国順位は、数値の小さいものを1位として順位付けしています。

～目指しています！「最小・最強の県庁」～

県では、より効率的な行政運営を行い、最少の費用で最大の効果をあげる「最小・最強の県庁」を目指しています。

資料：県改革推進課

県民1万人当たりの都道府県職員数(一般行政部門)
(平成20年4月1日現在)

都道府県	職員数(人)
埼玉県	12.8
千葉県	14.8
東京都	16.0
大阪府	17.3
茨城県	18.2
全国平均	24.8

おしえてコバトン

資料出所：*1,3,4「地方公共団体定員管理調査結果の概要」総務省HP
*2 県改革推進課

時点(周期)：平成20年4月1日(毎年)